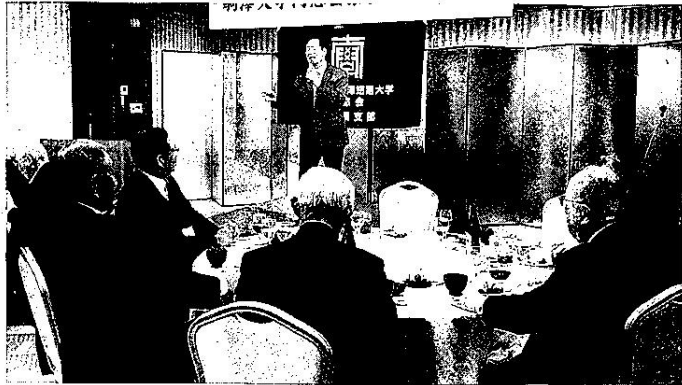


# 活動再開、笑い声戻る

駒沢大学同窓会県支部  
(久保田昌孝支部長)の総



会が12日、奈良市法華寺町  
の奈良ロイヤルホテルで開

中畑清さんが野球人生を語った駒沢大学同窓会県支部の  
記念講演＝12日、奈良市法華寺町の奈良ロイヤルホテル

かれ、卒業生約30人が出席。同大出身の野球解説者、中畑清さん(70)が記念講演して大いに盛り上がった。同支部の活動は新型コロナウイルス禍で5年ぶり。現役時代は「絶好調男」のニックネームで人気を博し、横浜DeNAベイスターズの監督も務めた中畑さんは、学生時代やプロ入りからの野球人生をユーモラスに語り、会場は笑い声に包まれた。久保田支部長は「5年ぶりに、この会を開くことができてうれしく思う。この盛り上がりは次回につなげていきたい」と語った。

講演前には総会を開催。予算案を承認したほか、本年度の役員に久保田支部長、事務局長に菅至人さんを、監査に柳塘正勝さんをそれぞれ再任した。

「建国記念の日」の振替休日に、母校・駒澤大学の同窓会が、奈良ロイヤルホテルで開かれ、参加しました。

同窓会奈良県支部長の久保田昌孝・檀原神宮宮司、副支部長の三輪山平等寺・丸子孝法住職、事務局長の菅至人氏らの同会役員、また同窓会東京本部の大石孝会長や、多くの来賓も駆けつけて頂き、会員30数人と共に5年ぶりの集まり

## 盛り上がった同窓会

柳塘 正勝

となりました。

念願の同会で、元プロ野球選手・監督の中畑清氏を講師としてお迎えしました。ロビーでお会った時、テレビ映像よりも背が高く、男前だなと感じました。

1部での総会が終了し、2部での記念講演では、近畿ブロック長の山本泰之氏が、同級生のよしみで、紙芝居を作成され、中畑清氏の現役時代を上手に表現して、「参加者に分かりやす

い、素晴らしい企画だなあ」と感心しました。その合間、合間にテレビでの解説と同口調で、特に大先輩の長嶋茂雄監督の、監督たる監督の事例を取り上げられ、尊敬の念を述べられました。

一方、ある監督のますい采(さい)配を痛烈に批判し「はらたつ」とテレビの前で怒鳴ったりと、中畑さんらしい素晴らしい話しぶりで、拍手喝采(かっさい)の連続でした。WBCでの経験談も語られ、「プロ生活で最大の重みでもあった」と付け加えられました。

第三部では、同支部の女性部会長・筒井ひろ子氏と、夫の東大寺長老の筒井寛昭氏が参加されたの懇親会は圧感で、中畑さんの赤ペラでの歌や撮影等で、その場は総立ちで最高の盛り上がりでした。

帰宅時、同席して頂いた壺阪山霊園の中村康男所長は「あれだけの著名人が来られる同窓会って他に無いんじゃないでしょうか」とおっしゃって頂きました。(高取町・79歳)



雑記帳は東大寺長老・故清次郎師

2024. 3. 12

■投稿規定 身近な話題を600字程度に。タイトル、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて〒630-8686奈良新聞社編集部「雑記帳」係へ。Eメール: zappichou@nara-np.co.jpでも受け付け。字数や表現を整理する場合があります。



左のQRコードから投稿フォームに入れます